

課題等の整理、評価および対応方針

1 進捗状況等のまとめ



誘導施策の実施状況

63施策のうち、都市機能誘導区域を対象とした国の補助事業等に係る施策など、9施策が未実施・未検討となっておりますが、概ね計画どおり推移しています。

誘導施策	施策の実施・検討状況
都市機能誘導区域を対象とした施策	25施策のうち、18施策を実施
居住誘導区域内に居住を誘導するための施策	15施策のうち、14施策を実施
居住誘導区域外を対象とした施策	14施策のうち、13施策を実施
公共交通に係る施策	9施策すべて実施
合計	63施策のうち、54施策を実施（再掲施策含む）



数値目標の進捗状況

基本指標、重点指標および期待される効果については、コロナ禍の影響があったものの、概ね目標値を上回っています。

指標と実績値	
基本指標	都市機能誘導区域内に誘導すべき誘導施設の立地数 目標 159 施設 以上 → R5 177 施設
	居住誘導区域内の人口密度 目標 50.0 人/ha 以上 → R2 54.3 人/ha
	路線バスおよびマイタウンバスの利用率 目標 6.6 % 以上 → R5 5.8 %
	鉄道の利用率 目標 5.3 % 以上 → R5 5.0 %
重点指標および効果	就業している高齢者の割合 目標 17.0 % 以上 → R2 21.5 %
	元気な高齢者の割合 目標 78.8 % 以上 → R5 79.6 %
	都市機能誘導区域内の「特定教育・保育施設等」および「地域型保育事業」施設立地数 目標 22 施設 以上 → R5 24 施設
	働く女性の割合 目標 61.7 % 以上 → R2 66.2 %
	専用住宅・工場等を除く市内全新築着工件数のうち、都市機能誘導区域内の着工件数割合 目標 23.2 % 以上 → R5 14.8 %
	都市機能誘導区域内平均地価 目標 60,100 円 以上 → R5 62,100 円
	都市機能誘導区域内平均地価変動率 目標 -12.1 % 以上 → H29~R5 +3.2 %

2 課題等の整理

計画策定から6年が経過し、計画に関する情勢が変化するなど、以下のとおり課題等が生じています。



国の補助事業に係る施策等について、条件に該当する民間事業がなく、検討・実現に至っていない。



国・本市の施策について、事業統合や終了など、変化が生じている。

- ✓ 2020年(令和2年)都市再生特別措置法改正により、計画の記載項目に「防災指針」が追加
- ✓ 2021年(令和3年)6月に「第7次秋田市総合都市計画」が策定されるなど、計画策定以後において、上位・関連計画の見直しが生じている。
- ✓ 2023年(令和5年)7月の豪雨災害など、自然災害の頻発化・激甚化

3 評価の総括

- 居住誘導区域内において人口密度が概ね維持されているほか、都市機能誘導施設の立地が増進するなど、成果が現れている。
- 一方、計画をとりまく情勢に変化が生じており、計画の継続に向け、対応する必要がある。

4 今後の対応方針

計画の課題・評価を受け、次年度以降、主に以下の事項について、計画の一部見直しを進めてまいります。

- ✓ **都市機能・居住誘導区域内の防災・減災対策を位置付ける「防災指針」を記載**
- ✓ **自然災害の頻発・激甚化を踏まえた都市機能・居住誘導区域の見直し**
- ✓ **次年度見直し予定の秋田市総合計画基本構想など、上位・関連計画等を受けた見直し**
- ✓ **未実施・未検討の誘導施策について、実現性・必要性等を踏まえた見直し**